2012 愛媛大学教育学部附属中学校研究紀要 第65号

未来を拓く力の育成

－持続可能な社会を築くための、自立と共生の力を育む指導－

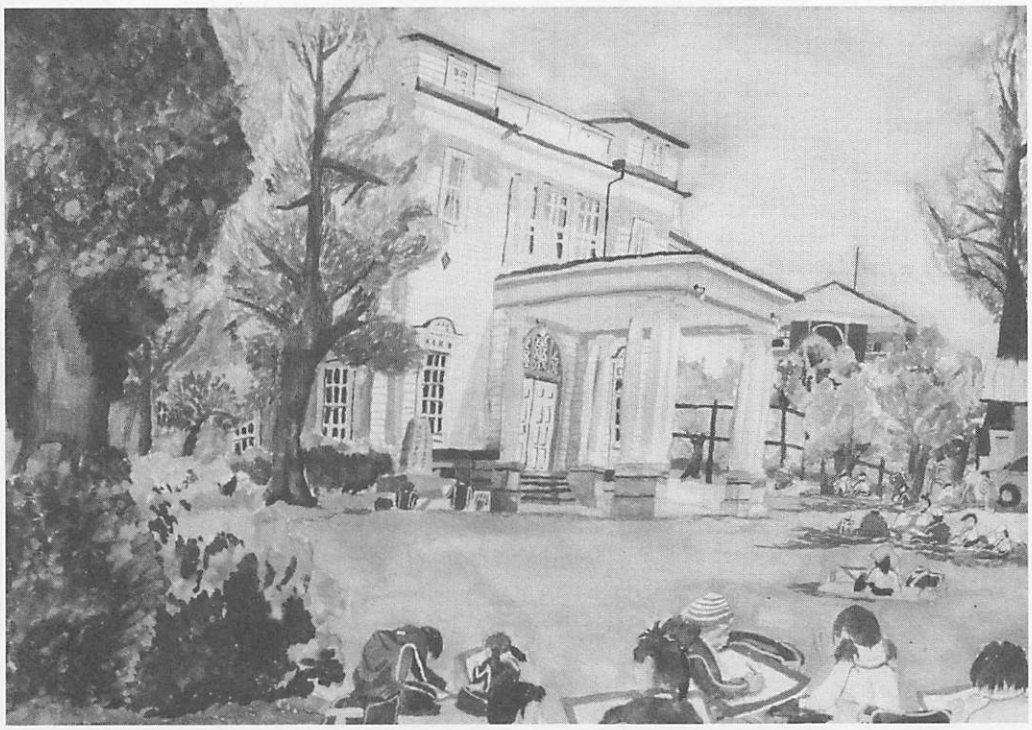
3か年研究最終年次



国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業推進校
平成 21・22 年度（理科、技術・家庭）
平成 23・24 年度（社会） 平成 24 年度（理科）

愛 媛 大 学 教 育 学 部
愛媛大学教育学部附属中学校

2012 愛媛大学教育学部附属中学校研究紀要　第65号



愛 媛 大 学 教 育 学 部
愛媛大学教育学部附属中学校

はじめに

「子どものそばにすべてがある」。教育実践研究を進めてきた私たちの合言葉です。教育は，子どもから距離を置くほどその実相がみえなくなることがあります。常に，子どものそばにいて，子どもの言葉にならない「ことば」を聴き取る精度のよい「聴心（診）器」をもって教育実践研究をしていかなければならないと考えています。教育現場では，相関関係=因果関係でないことが多くあります。教育実践の場は，教師と子ども，子どもと子どもとが織りなす多次元性（multidimensionary），同時性（simulataneity），非予測性（unpredictability）という特性をもって行き交う，きわめて動的で複雑な営みなのです。

この営みの背後にあるものをいかに解き明かすことができるのでしょうか。これまで理論と実践を「つなぐ」多くの研究がなされてきました。佐伯胖氏，秋田喜代美氏等の知見から，次のような「つなぎ」が見られます。“theory into practice”（「授業理論」を「教育実践」に適用する立場），“theory through practice”（「教育実践」を類型化して「授業理論」をつくる立場），“theory in practice”（優れた教師の「授業実践」において，内在し機能している「授業理論」を外在化する立場），“action research”（教育現場での省察と関係の編み直しに参加し，そこでの場をデザインしていく立場），そして”“lesson study”（日本の教師が開発してきた授業研究の立場）です。

私たちは，この理論と実践の往還の在り方として，全国的にも稀有な研究体制を昨年度から提案させていただいております。それは，授業構想の段階から，本校教員と大学教員が共同研究者として対等な関係で議論し，研究授業には県教委の指導主事の先生や校長先生に指導助言いただくという体制です。教育内容学と教育方法学と教育実践学の融合を目指したこの研究体制は，全国に誇れるものだと自負いたしております。

研究主題である「未来を拓く力の育成」は，愛媛大学教育学部附属学校園の共通の研究主題です。特に，本校の研究テーマ「持続可能な社会を築くための，自立と共生の力を育む指導」は，時代の変化に対応した喫緊の課題であると同時に永遠のテーマでもあります。その意味では，研究の成果が実証的に説明できない性質のものかも知れません。しかし，私たちは子どものそばに寄り添い，より質の高い学校文化を創造することによりこのテーマの背後にあるものを見いだそうと努力してまいりました。提案させていただきます研究成果報告やワークショップ等は拙いものかも知れませんが，子どもの未来保証をするための提案です。皆様方の忌憚のないご意見を賜りましたら幸甚に存じます。

最後になりましたが，本校研究へのご理解，ご支援，そしてご指導を賜っております愛媛県教育委員会はじめ多くの皆様方に心より御礼申し上げます。今後とも，ご指導・ご鞭撻のほど，お願い申し上げます。

平成25年２月

愛媛大学教育学部附属中学校　校長　平　松　義　樹

目　　次

はじめに…… 3

第Ⅰ部　基本構想

未来を拓く力の育成…… 9

第Ⅱ部　教科領域別研究

【未来を拓く古典学習へ　国語科】

はじめに…… 21

単元「古人の思い」における自己表現力を高める指導の工夫

竹縄　隆子…… 22

単元「先人に学ぶ」における思考力・表現力を養う指導の工夫

大上　航太…… 29

単元「いにしえの心にふれる」における思考力や想像力を養い自己表現力を高める指導の工夫

梅木　香織…… 36

【社会を形成していく力の育成　社会科】

はじめに…… 49

地理的分野「世界と比べた日本の地域的特色」の実践より

西田　剛志…… 51

歴史的分野「古代までの日本のまとめ」と「中世の日本の導入」の実践より

田中　寿佳…… 57

公民的分野「現代社会を捉える見方や考え方」の実践より

宮本　真人…… 61

【数学を活用する力を育てる指導の工夫　数学科】

はじめに…… 73

数学的な知識や技能を活用する意欲を高める指導の工夫　赤松　結美…… 74

自らの考えを表現し合うことを通して数学を活用する力を育てるための指導の工夫

上岡　幸治…… 80

情報を活用する力を育成し自力解決を促すフリークライミング学習についての研究

藤家　慎吾…… 88

【仲間との関わり合いの中で科学的な思考力を養う指導・評価の工夫　理科】

はじめに…… 99

「人の脚とブタの脚のつくりには，共通なつくりはあるのだろうか」を通して

岡本　慎次…… 101

３年生「化学変化とイオン」「生命の連続性」「地球と宇宙」の実践を通して

辻井　　修…… 105

「シダ植物はどのようにして子孫をふやすのだろうか」を通して

森山由香里…… 113

【心が動く，心がつながる生きた音楽活動を求めて　音楽科】

心が動く，心がつながる生きた音楽活動を求めて

― 子どもから大人へ，楽しく，感動する音楽活動の場の創造 ―

来嶋　英生，遠藤　智保…… 121

【造形活動における思考の連続性や発達に関する研究　美術科】

造形活動における思考の連続性や発達に関する研究

― 感性と知性の往還を目指して ―　　大川　博司，三好　安奈…… 133

【仲間と深く関わり合いながら，体育の本質的な魅力に触れ，

運動の内発的動機付けができる学習指導の研究　保健体育科】

はじめに…… 145

「体つくり運動」の実践より　　坪内　道広…… 146

「球技」～ベースボール型の実践より～　　池内　裕紀…… 155

【持続可能な社会の実現を目指す生徒の育成を図る指導の工夫　技術・家庭科】

はじめに…… 167

持続可能な社会の実現を目指す生徒の育成を図る指導の工夫（技術分野）

― e-Learningを活用した自己学習力を高める学習指導の研究 ―

楠橋　光久…… 167

持続可能な社会の実現を目指す生徒の育成を図る技術・家庭科の教材開発（家庭分野）

― 実践的・体験的な学習活動を生かした指導の工夫 ―　中川　篤美…… 179

【ESDを踏まえたコミュニケーション能力を育成する指導の工夫　英語科】

はじめに…… 191

「自己紹介をしよう」 ～スピーチ活動の実践より～　河野　圭美…… 192

「インドの食習慣を理解しよう」 ～スキット活動の実践より～

吉岡　　瞳…… 197

【生徒が自分らしく生き抜くための支援　行く河の時間】

はじめに…… 207

生徒が自分らしく生き抜くための支援

― 情報への対処方法を考える（予防的アプローチ③）―

山口　京子…… 208

第Ⅲ部　研究の総括

第１章　生徒の実態調査…… 219

第２章　学校評価アンケートの考察…… 225

第３章　研究のまとめ…… 229

お　わ　り　に…… 233

研究アドバイザー…… 234

研究同人及び共同研究者…… 234